



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
RIテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ「会員の健康と地域リーダーの育成、
そしてロータリーの基本、規律を大切に」

会長 米山晴敏 幹事 仲原実圭

第1498回 例会
2022.5. 6(金)晴

司会： 田村康晃君
ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：鈴木俊也君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 米山晴敏君



皆さん、こんばんわ。

今日の例会には、2620地区、第一グループの松井ガバナー補佐が訪問されています。後ほどご挨拶を頂きます。

また、日本大学三島高等学校の野球部の永田監督と西川部長が、お見えになっています。永田監督は報徳学園時代に自らも選抜優勝の経験を持ち、凄いのは春夏通算18度の甲子園出場を誇る名将です。たった2年で日大三島高等学校を東海地区の王者にしました。永田監督が三島に来たことにより、この地区の野球レベルがアップする事は間違いないと思います。個人的には永田監督の1から作りあげる、2年、3年後の日大三島高等学校の活躍を夢見ている、OBの一人です。永田監督、夢を見させてください、お願い致します。

4月4日と20日と25日に3035委員会の奉仕事業『医療従事者に花束を』を実行していただきました。大村委員長はじめ参加者の皆さん、桜ヶ丘幼稚園の皆さんお疲れ様でした。

また、今日は吉村さん、大川さん、朝日さんの3名がゲストとして来てくれました。ようこそ、せせらぎ三島ロータリークラブに！服部委員長にどんなクラブか、どんな事をしているのか、お聞きになっていると思いますが、若い人が多い、クラブです。奉仕活動を盛んにしているクラブです。

私は約20年前に皆さんと同じように初めて、例会に参加して緊張した事を覚えております。その当時、時間がない、お金の余裕がない、奉仕に興味がない、のならないづくしでしたが、月日が経って激変しました。変わったのは私自身の少しの努力と、最大要因はロータリーに入会した事でした。今では当時、誘ってくれた先輩に奉仕の場と人間として、職業人として、成長をプレゼントされたと思って感謝しています。個人で

は難しい地域社会への奉仕活動ができる事。年齢や職業の違いを埋めて友情を深めることが出来た事、職業の高潔さ求める意欲が湧いた事、そして、助け合う気持ちが芽生えるのができた事、それらをロータリーで教えてもらったからです。

3人のゲストの皆さん。ロータリークラブがどんな社会奉仕活動をしているのか、どんな親睦活動をしているのか、少しだけ興味を持ってください。自分のためになるかどうか、人のためになるかどうか。多くのリソース、アイデア、パートナーシップを自分や家族や会社や従業員に活用できるのか？周りのロータリアンに聞いてください、そしてSNSを見て興味が湧く様になったら入会してください。もちろん、入会しなくても地域社会のために、自己向上のために一緒に社会奉仕や国際奉仕の活動をしていきましょう。

ロータリーから、ウクライナへの義援金が続々と届けられています。ウクライナから感謝の言葉も届いています。その中の一つをご紹介します。ウクライナ出身の米山学友は今、ウクライナに12名います。そのうちの一人、テチアナ・セネンコさんの便りをご紹介します。

彼女は戦争勃発後、それまで製剤科学者として農作物の薬剤開発をしていましたが、現在は志願してボランティアとして立場の弱い人達のために、生活必需品を配る活動をしています。時には、足りない薬を探しに奔走し、昼夜を問わず奮闘する日々を送っています。彼女から『ロータリーの皆さんからの支援金は難民支援に充てています。私は現在キープから80K離れた所で、破壊された街から逃れてきた人達の手助けをしています。私の1番の願いは、小さな子供たちが普通の生活を送れる日々を取り戻すことです。』と『よねやま便り』に寄せてきました。

最後に、ウクライナのロータリークラブの状況について簡単に説明します。1991年のウクライナ独立後に首都キーウでロータリークラブが設立されました。2014年ロシアによるクリミア併合、及びドネツク、ルハンスク州での武力紛争によりこの地区でのロータリーの発展がさまたげられて来ましたが、他の地域では、多くの新会員が入会し、2014年の侵攻以来ロータリークラブの数は49から62クラブに増え、6つの衛生クラブも設立されて、会員数は800名から1100名に増加しました。今回の侵略でウクライナの62のロータリークラブは苦慮に立たされていますが、侵略が終息した後はウクライナのロータリークラブが不死鳥の様に蘇ることを祈ってやみません。

ガバナー補佐挨拶

静岡第1グループ

ガバナー補佐 松井大英君



今年度、各ロータリークラブはコロナ禍で難しい運営を余儀なくされました。クラブの活動の大きな柱は「親睦」と「奉仕」です。コロナ禍で人と人との接触が制限される中で、親睦活動は難しく、緊急事態宣言下では多くのクラブが例会を中止するなど、交流の機会を持つこともできませんでした。

一方で、奉仕活動は、飲食を伴わなければ、多くの活動は可能です。ロータリーは「社会へ奉仕する」ために集まった共同体です。その活動の中で、会員同士の親睦が生まれてきます。「親睦のための親睦」ではなく、「奉仕の精神を共有する者の一体感を出すための親睦」がロータリーの親睦ではないでしょうか。コロナ禍で様々なコミュニケーションツールが普及しました。それにより、従来では考えられなかった人間関係が新たに構築されています。それらを積極的に使って、「奉仕活動」を活性化し、会員の満足度を高めていくことが求められています。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

松井大英ガバナー補佐(下田RC)
永田裕治さん(日大三島高校野球部監督)
西川真史さん(日大三島高校野球部)
大川 泰さん(服部君のゲスト)
朝日孝徳さん(")
吉村真人さん(")



出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	18/29	62.07%	26/29	89.70%
今回	25/30	83.33%	会員総数	32名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、篠木君、土屋(巧)君、原君、山口(雅)君
(*出席免除会員の欠席者 片野君、中村君)



スマイルボックス

松井大英ガバナー補佐: よろしくお願ひします!

土屋和彦君: 地区研修・協議会及び地区奉仕活動委員会のズームによる会議に参加させていただきました。参加人数に驚きました。

伊丹雅治君: 日大三島の春の選抜出場に静岡県東部が湧きました。私も元高校球児としてとても感激しました。夏の大会のご活躍も期待しております。

野村諒子君: 皆様連休楽しんでますか。近くで観光しようと、大石寺と身延山の久遠寺に行って、日蓮について学んできました。連休の穴場です。実は桜を見に行き、渋滞で諦めた結果の目的地変更です。芝桜(本栖湖)は閉園前の2時~3時が良いみたいです。(今度行きます)

原兄多君: 4月26日に大腸がん切除手術を行い、無事5月2日に退院しました。皆さんには多くの励ましの言葉をいただきありがとうございました。5月中に復帰したいと思いますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

山口辰哉君: 先月の「春の家族会」、親睦委員会の皆さまお疲れさまでした。どこにも出かけていないストレスが少し発散できたかな? ありがとうございます。

